

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】令和1年9月12日(2019.9.12)

【公開番号】特開2017-206431(P2017-206431A)

【公開日】平成29年11月24日(2017.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2017-045

【出願番号】特願2017-85335(P2017-85335)

【国際特許分類】

C 01 G 19/00 (2006.01)

C 22 C 9/02 (2006.01)

B 22 F 1/00 (2006.01)

H 01 L 31/072 (2012.01)

【F I】

C 01 G 19/00 A

C 22 C 9/02

B 22 F 1/00 L

H 01 L 31/06 400

【誤訳訂正書】

【提出日】令和1年7月31日(2019.7.31)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0034

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0034】

C Z T S ナノ粒子は、振盪、攪拌又は超音波処理を含む当業者に知られている任意の方法によって、1又は複数の溶媒中に溶解又は分散してよい。幾つかの実施形態においては、溶媒は無極性である。例としては、限定されないが、トルエン、アルカン(例えばヘキサン)、塩素系溶剤(例えばジクロロメタン、クロロホルム等)、ケトン(例えばイソホロン)、エーテル(例えばアニソール)及びテルペン(例えば-テルピネン、リモネン等)が挙げられる。随意選択的に、他の添加剤、例えば、結合剤、レオロジー改良剤等がインク製剤に組み込まれて、そのコーティング特性が修飾されてよい。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

C u、Z n、S n 及びS を含む半導体材料と、

沸点が300 未満であって、前記半導体材料の表面に結合したオルガノチオールリガンドと、

から成り、

前記オルガノチオールリガンドは、アルカンチオール、アルケンチオール、または芳香族チオールであって、

ケステライト結晶構造を有しているナノ粒子。

【請求項2】

C u、Z n、S n 及びS を含む前記半導体材料は、式C u<sub>2</sub>Z n S n S<sub>4</sub>を有する、請

求項 1 に記載のナノ粒子。

【請求項 3】

ナノ粒子が 350 に加熱されると、前記半導体材料の表面に結合した前記オルガノチオールリガンドの少なくとも 50 % が前記半導体材料の表面から解放される、請求項 1 に記載のナノ粒子。

【請求項 4】

前記オルガノチオールリガンドは、1 - ドデカンチオールである、請求項 1 に記載のナノ粒子。

【請求項 5】

溶媒と、

前記溶媒に溶解又は分散している、請求項 1 乃至 4 の何れかに記載のナノ粒子と、を含むインク。

【請求項 6】

前記溶媒は無極性溶媒である、請求項 5 に記載のインク。

【請求項 7】

前記溶媒は、トルエン、アルカン、塩素系溶剤、ケトン、エーテル及びテルペンの何れかである、請求項 5 に記載のインク。

【請求項 8】

結合剤を更に含む、請求項 5 に記載のインク。

【請求項 9】

レオロジー改良剤を更に含む、請求項 5 に記載のインク。